

沖縄本島南部西海岸

(那覇空港・那覇港周辺)

空路、海路など国内外からの観光や物流の拠点として那覇空港及び那覇港周辺整備が進んでいます。

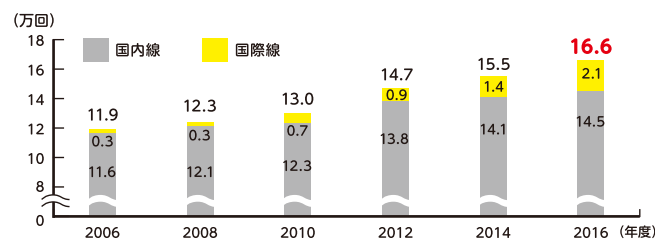


那覇空港からの国際線ネットワーク



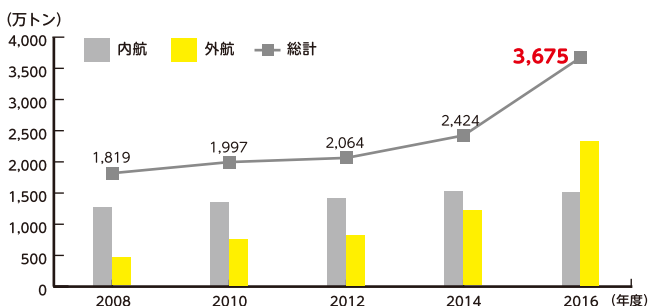
入域観光客数は2017年8月には、月間で初めて100万人台を記録しました。アジア各地との間の直行便数も2012年度末の週49便から2018年1月末には週200便と大幅に伸びています。

那覇空港における発着回数の推移



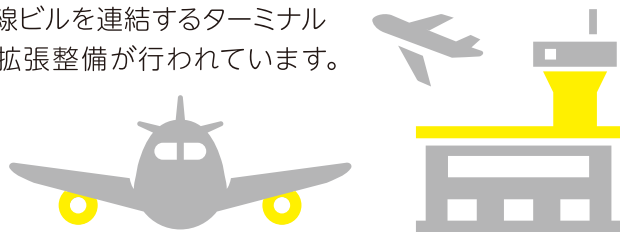
那覇港入港船舶総トン数推移

(クルーズ船+貨物船)



世界へ広がる空の玄関口

航空需要が増加している那覇空港では、第2滑走路の増設や、国際線と国内線ビルを連結するターミナルビルの拡張整備が行われています。



提供/那覇空港ビルディング株式会社

那覇空港の国内線・国際線連絡ターミナルビルは2019年に供用開始予定



2020年3月末には那覇空港第2滑走路が完成予定

提供/内閣府沖縄総合事務局



新港ふ頭9号10号岸壁
【公共国際コンテナターミナル】

クルーズ第2バース (予定)

那覇港総合物流センター

新港ふ頭7号岸壁

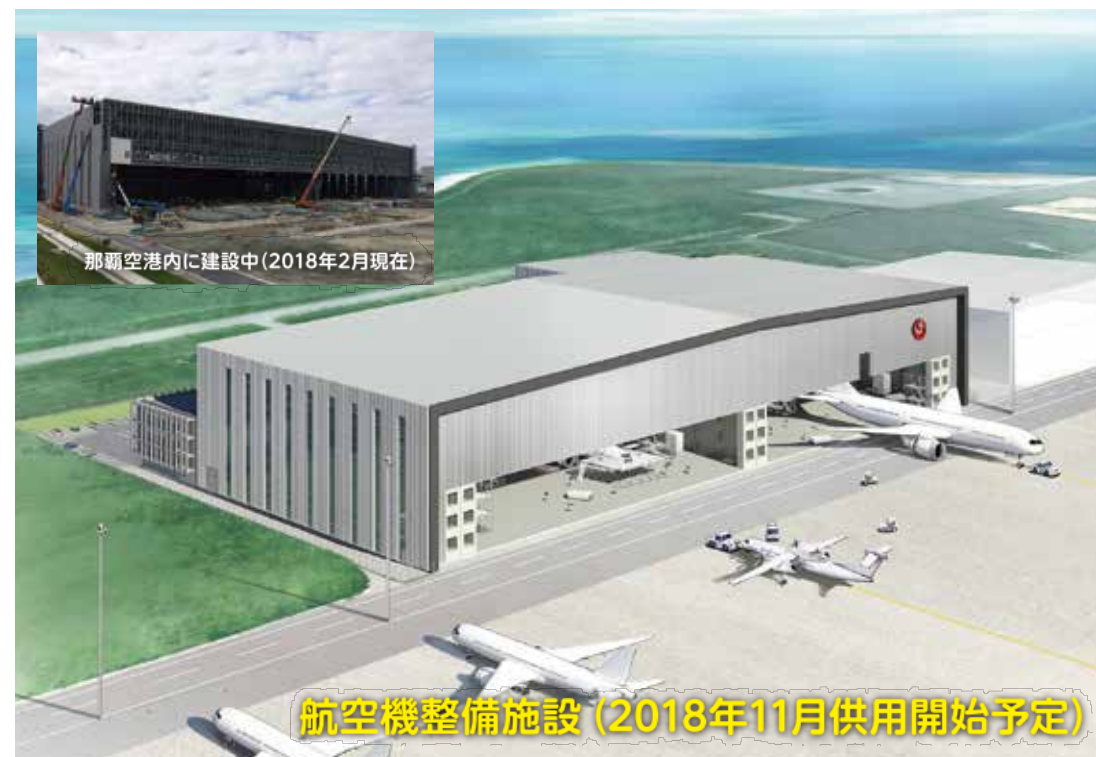
泊ふ頭8号岸壁
【那覇クルーズターミナル】

周辺整備が進む那覇港

国際物流港湾機能がますます充実。2018年度には那覇港総合物流センターが整備され、クルーズ船第2バースの整備も予定されています。



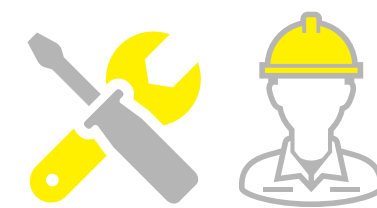
那覇港総合物流センター



航空機整備施設 (2018年11月供用開始予定)

航空関連産業クラスターの形成

アジアにおける航空需要が増加する中、沖縄県では航空機整備を核とする新しい航空関連産業が始まります。

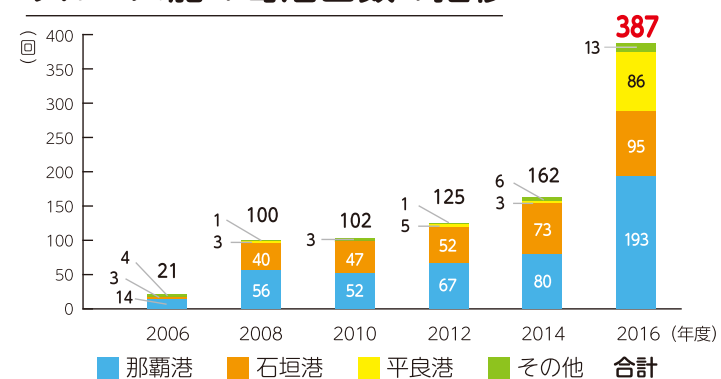


宮古地区

国内外の富裕層をターゲットにした新たなリゾート開発や再生可能エネルギーの導入など、環境に配慮した島づくりに力を入れています。



クルーズ船の寄港回数の推移



平良港のクルーズバースの整備も進んでいます。



下地島空港旅客ターミナル完成予想図

提供/三菱地所株式会社

ワンランク上のリゾートライフ

国際線やプライベートジェットも受け入れ可能な下地島空港旅客ターミナル建設をはじめ、来間島や伊良部地区でもリゾート開発が進んでいます。

COLUMN⑥

「エコアイランド」の活動

太陽光や風力発電など環境に優しい再生可能エネルギーの導入が進んでいます。



八重山地区

国内外からの観光需要に応える島づくりに取り組むとともに、地元の特産品の魅力を積極的に海外へ発信しています。



提供/石垣空港ターミナル株式会社

増改築後の新石垣空港国際線ターミナルビルの完成予想図。2019年度供用開始予定

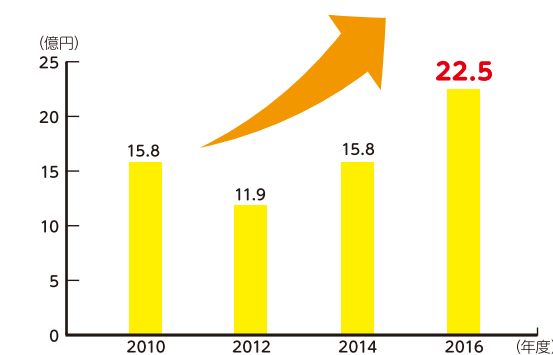
COLUMN⑦

島の“元気の素”をアジアへ展開

健康長寿のイメージが強い沖縄。台湾などに特に近い石垣は、塩やブランド牛など島の特産品の販路をアジアへと拡大しています。



農林水産物・食品の輸出額の推移



※海外で直接水揚げしたものを除く

世界に広がる沖縄のネットワーク

沖縄県海外事務所や沖縄県人会、ビジネスネットワークなど
世界各国にウチナーンチュの輪が広がっています。






※世界のウチナーンチュ (沖縄県系人)

現在、海外で暮らすウチナーンチュは、42万人いると推計されています。2016 (平成28) 年に開催された第6回世界のウチナーンチュ大会では、海外から過去最高となる7,300名もの県系人が参加し、大会最終日には、毎年10月30日を「世界のウチナーンチュの日」として制定しました。

※WUB (世界ウチナーンチュ・ビジネス・アソシエーション)

16の国と地域に、24支部のウチナーンチュビジネスネットワークが広がっています (2017年9月現在)。

-  沖縄県海外事務所・移託駐在員等
-  沖縄県人会
-  WUB



視線はアジア

